

Maria Seiren

～ parallel world concert ～

YouTube再生回数300万回突破記念コンサート

2016年10月20日(木) 19:00～日本橋劇場(日本橋公会堂4F)



Maria Seiren
マリアセレン
(countertenor/tenor)

東京生まれ。学生時代より合唱部で歌い、テーマパーク勤務後、「Haruka」名で歌唱し、人気を得る。その後ニューハーフの世界へ。2012年 日本プロゴルフ協会主催のゴルフサミットにサプライズ・ゲスト出演。2013年 コシノジュンコ・プロデュースによるパレスホテル一周年「ザ・パレス・ガラコンサート」にゲスト出演。その後もコシノジュンコ氏のファッションショーにて両声ヴォーカリストとして出演し、高評を博す。2015年 グランドハイアットにて「コシノジュンコ結婚40周年記念～anniversary and butterfly～」コンサートに、ゲスト出演。東京藝術大学「学長と語ろうコンサート」において、山下一史指揮、藝大奏楽堂にてゲスト出演。2015年12月23日第16回 ファンタジックなクリスマス～Maria del sorriso・ほほえみのマリア～(主催:東京ヴィヴァルディ合奏団 サントリーホール ブルーローズ)の共演ステージが「マリアセレン」名での初舞台となり、チケットは完売となる。男性と女性の声を歌い分けるダイナミックで非凡な才能に、各方面から注目を集め今後を期待されている。2017年2月には、クラシック・クロスオーバーの新作舞台歌曲を発表予定。性を越えた謎のスピリチュアルな存在のヴォーカリストとして、舞台やコンサートの活動をしている。

プログラム

第1部

1. Ave Maria 作曲 ウラディーミル・ヴァヴィロフ
2. O sole mio 作詞 ジョヴァンニ・カプッチョ 作曲 エドゥアルド・ディ・カプア
3. Nina 作曲/作詞不詳
4. もののけ姫 作詞 宮崎 駿 作曲 久石 譲
5. 黄昏のワルツ 作曲 加古 隆
6. Caro mio ben 作詞不詳 作曲 トンマーゾ・ジョルダー
7. 乾杯の歌 オペラ「椿姫」より 作曲 ジュゼッペ・ヴェルディ

第2部

1. <特別公開> 哀しみのシレーナ ～禁断の愛～ 第2幕「虜囚の女王」
Tristezza di Sirena ～amore proibito～ La regina prigioniera
作・演出 植村 文明/作詞 Maria Seiren/作曲 武井 浩之/訳詞 Francesca Donati
【女 王 Sirena】 Maria Seiren(countertenor)
【女王の長姉 Onda】 三重野 広美(soprano)
【女王の次姉 Azzurra】 坂本 江美(soprano)
この歌劇は、ギリシャ神話をもとに、異なる種族の禁断の恋を通じて、悲劇の運命を背負った男女の悲哀を描いた物語です。人間と人魚との積年にわたる争い、肉親の非業の死を互いに背負いながら宿命の出会いから生まれる愛憎関係、守るべき一族と切れぬ絆、恋慕と悔いから狂気へと変わる心情をダイナミックに表現した音楽エンターテインメント作品です。今回は、来年の公開前に特別に編曲した第2幕だけをご覧ください。
2. ニュー・シネマ・パラダイス 作曲 エンニオ・モリコーネ
3. オペラ座の怪人 作詞 チャールズ・ハート 作曲 アンドルー・ロイド・ウェバー
4. 星はひかりぬ オペラ「トスカ」より 作曲 ジャコモ・プッチーニ
5. Lascia ch'io pianga オペラ「リナルド」より 作曲 ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル
6. タイム・トゥ・セイグッバイ(コン・テ・パルティロ) 作詞 クアラントット 作曲 フランチェスコ・サルトリ

(事情によりプログラムが変更になる場合があります)



三重野 広美
(soprano)

洗足学園音楽大学声楽科卒業。2000年にチェコのバドワイザーの第10回エミーデスティン国際声楽コンクールで第3位受賞。2008年、メルビッシュ湖上オペレッタフェスティバルに出演。二期会会員。



坂本 江美
(soprano)

国立音楽大学声楽科卒業。二期会オペラスタジオ第38期マスタークラス修了、修了時に優秀賞受賞。数多くのオペラでヒロイン役を演じ、ニューヨーク・カーネギーホールにおいてもソリストとして出演。二期会会員。



司会
真夏 竜
(まなつりゅう)

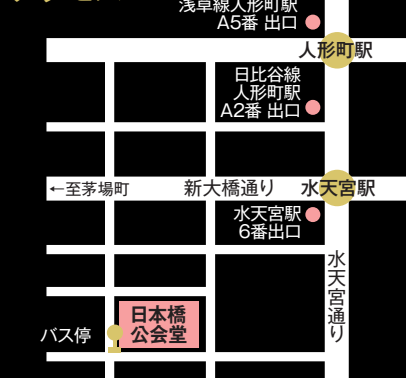
俳優/声優/ナレーター
1974年TBS「ウルトラマンレオ」主演:おとりゲンでデビュー。テレビドラマ「相棒9」「相棒14」「キッズウォー」「破れ傘刀舟」/映画「大怪獣モノ」(2016)など出演多数/文化庁「学校への芸術家派遣事業」協力芸術家。



Since 1961 ～さらなる音の拡がりと夢を求める～
東京ヴィヴァルディピアノ五重奏団 TOKYO VIVALDI PIANO QUINTET
(東京ヴィヴァルディ合奏団 TOKYO VIVALDI ENSEMBLE)

2016年に創立55周年を迎えた日本を代表する東京ヴィヴァルディ合奏団は、1961年結成、東京藝術大学の出身者らにより設立、70年代にヨーロッパ公演を成功させ揺るぎない地位を築いた。弦楽五部とチェンバロの12名の基本編成は創立以来変わらず、1985年より現・音楽監督、チェリストの渡部宏が中心となり、さらなる音の拡がり求め、全員男性奏者によるメンバーに一新、イタリアンバロックサウンドを充実させる。指揮者を置かず生み出される演奏からは、緊張感そしてダイナミックで重厚なサウンドに溢れ、自由性をもった音楽表現の濃(コマ)やかさが高く評価される。聴き手に「期待と夢に膨らむ魅力ある公演」として上質な演奏会を堅持し提供することを目指し、「確かな演奏技術の上に生きた音色、音楽」を演奏者自身の理念としている。流行に流されることのない真摯な音作り、正統派でありつつチャレンジする姿勢に多くのファンを支持を得る。東京ヴィヴァルディピアノ五重奏団は、合奏団の凝縮された柔軟な姿勢として既に高い評価を得ている。

アクセス



中央区立日本橋公会堂(日本橋劇場)

- 東京メトロ
半蔵門線「水天宮前」駅 6番出口から徒歩2分
日比谷線「人形町」駅 A2出口から徒歩5分
東西線「茅場町」駅 4-a出口から徒歩10分
 - 都営地下鉄浅草線「人形町」駅
A3・A5番出口から徒歩7分
 - 中央区コミュニティバス(江戸バス)北循環25
「日本橋区民センター」下車0分
- ※ホール(観客)・集会室用の駐車場はございません。
お車でのご来場はご遠慮ください。